無償資金協力

案件概要書

2016 年 8 月 30 日

１．基本情報

(１) 国名：キルギス共和国

(２) プロジェクトサイト／対象地域名：タラス州

(３) 案件名：タラス - タラズ道路ウルマラル川橋梁架け替え計画（The Project for Reconstruction of Urmaral River Bridge on Talas-Taraz Road）

(４) 事業の要約:キルギスとカザフスタンを結ぶ国際幹線道路であるタラス - タラズ道路に架かるウルマラル川橋梁を架け替えることにより,運輸交通網の改善と物流の円滑化を図り，もって運輸インフラ維持管理と地域間格差の是正に寄与するもの。

２．事業の背景と必要性

(１) 当該国における運輸交通セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

キルギスはカザフスタン、ウズベキスタン、タジキスタン、及び中国に囲まれた内陸国であり、旅客輸送及び貨物輸送の約 95%を道路交通に依存している。同国内の道路は国民生活において重要な機能を有している他、中央アジア地域、ひいては南西アジア地域を結ぶ域内交通手段としての役割も担っており、重要性が高い。

同国国内の道路網の大部分は旧ソ連時代に完成したものであるが､1991 年の独立以降は、経済の低迷により道路や橋梁の改修が十分に行われずに老朽化が進行しており、現在も年間約 200km の道路が通行機能を失いつつある｡道路橋梁の老朽化は国民の生活に必要な物資の輸送や周辺国との交易に支障を来たし､経済成長の阻害要因となっている。

上記の状況を受け、キルギス政府は「国家持続的開発戦略 2013-2017」（National Sustainable Development Strategy。以下、「NSDS」という。）の重点分野の一つに「戦略的経済産業の開発」を掲げ、運輸・道路セクター、特に国際輸送回廊と国内道路網のリハビリ（修復）を優先項目としている。本事業は、カザフスタンと同国北西部を繋ぐ唯一のアスファルト舗装道路であるタラス - タラズ道路のタラズ側から 82km 地点に位置するウルマラル川橋梁を架け替えるもので、NSDS において最優先事業の一つに位置付けられている。当該橋梁は損傷が激しく、技術協力プロジェクト「橋梁・トンネル維持管理能力向上プロジェクト」において実施した橋梁点検でも、架け替えの緊急性が高い橋梁のうち、交通ネットワーク上の重要度が高い橋梁と判断された。

また、タラス州産の農産物輸出量はキルギス全体の農産物輸出量（120 百万ドル）の約 4 分の 1（30 百万ドル）を占めている。タラス州で生産された農産物（豆、じゃがいも、りんご、たまねぎ、ナッツ、蜂蜜等）は、当該橋梁を通りカザフスタンを含む他国へ輸出されていることから、本事業は同国の農産物の輸出の安定化に寄与することも期待される。

(２) 運輸交通セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

我が国は対キルギス共和国国別援助方針（2012 年 12 月）において、「運輸インフラ維持管理と地域間格差の是正」を重点分野に位置付けており、同分野では物流の活性化や他の産業部門への波及効果が期待される運輸インフラにおいて、道路維持管理能力の

強化や幹線道路の交通改善を中心とした支援を掲げており、本事業は我が国の協力方針に合致する。

(３) 他の援助機関の対応

世界銀行、アジア開発銀行（以下、「ADB」という。）、欧州復興開発銀行、イスラム開発銀行、中国政府等が道路整備プロジェクトに対する資金協力を実施している。また、ADB は同国運輸通信省の道路セクターにおける開発戦略文書である「Road Sector Development Strategy up to 2025」の策定支援を行っている。

(４) 本事業を実施する意義

本事業は、同国北西部とカザフスタンを結ぶ国際幹線道路上の橋梁の架け替えを通じて物流の円滑化を図り、もって同国の安定的な農産物の輸出に資するものであり、我が国及び JICA の援助方針・分析並びに同国政府の政策に合致し、SDGs（持続可能な開発目標）ゴール 8 及び 9 に貢献すると考えられることから、無償資金協力にて本事業の実施を支援する必要性は高い。

３．事業概要

(１) 事業概要

① 事業の目的

本事業は、キルギス共和国とカザフスタン共和国を結ぶ国際幹線道路であるタラス-タラズ道路に架かるウルマラル川橋梁を架け替えることにより、運輸交通網の改善と物流の円滑化を図り、もって運輸インフラ維持管理と地域間格差の是正に寄与するもの。

② 事業内容

ア）施設・機材等の内容：

・既存橋（橋長約 36m、幅員約 8m、RC 単純桁橋）の撤去

・新橋の建設（橋長約 70m、幅員約 10m、PCT 桁橋）、取付道路工（線形改良含む）

なお、対象橋梁に至る道路線形は急カーブになっており、重大事故が多発しているため、橋梁の延長による道路の線形改良を検討している。

イ）コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、施工監理、入札支援等

ウ）調達・施工方法：本邦／第三国調達（詳細は協力準備調査により確認する。）

③ 他の JICA 事業との関係

技術協力プロジェクト「橋梁・トンネル維持管理能力向上プロジェクト」（2013～2016 年）を通じて、開発した橋梁維持管理データベース及び点検マニュアルを活用することができる。また，道路・橋梁の維持管理に関する関係機関（運輸道路省）職員の能力向上を支援しており，本案件における実施機関も運輸道路省であることから、当該橋梁においても運輸道路省職員間の技術移転を通じた効果的な維持管理の実施が期待される。さらに，2008 年以降，同省に日本人専門家（道路行政アドバイザー）を派遣しており，本事業の案件形成段階から助言を得ているほか，本事業実施においても協力が得られる見込み。

(２) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制：キルギス共和国運輸道路省（Ministry of Transport and Roads of the Kyrgyz Republic : MOTR）

② 他機関との連携・役割分担：イスラム開発銀行がタラス - タラズ道路の改修工事を実施しており、全長 201km のうち、73km の改修が完了し、現在新たに 30km（Phase3）を改修中。残る 98km については、Phase3 の結果を確認した後に検討される予定。

③ 運営／維持管理体制：協力準備調査にて確認。

（３） 環境社会配慮

① カテゴリ分類　□A　■B　□C　□FI

② カテゴリ分類の根拠：

本事業は、「国際協力機構環境配慮社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる橋梁セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

（４） 横断的事項：協力準備調査にて横断的事項の可否につき確認。

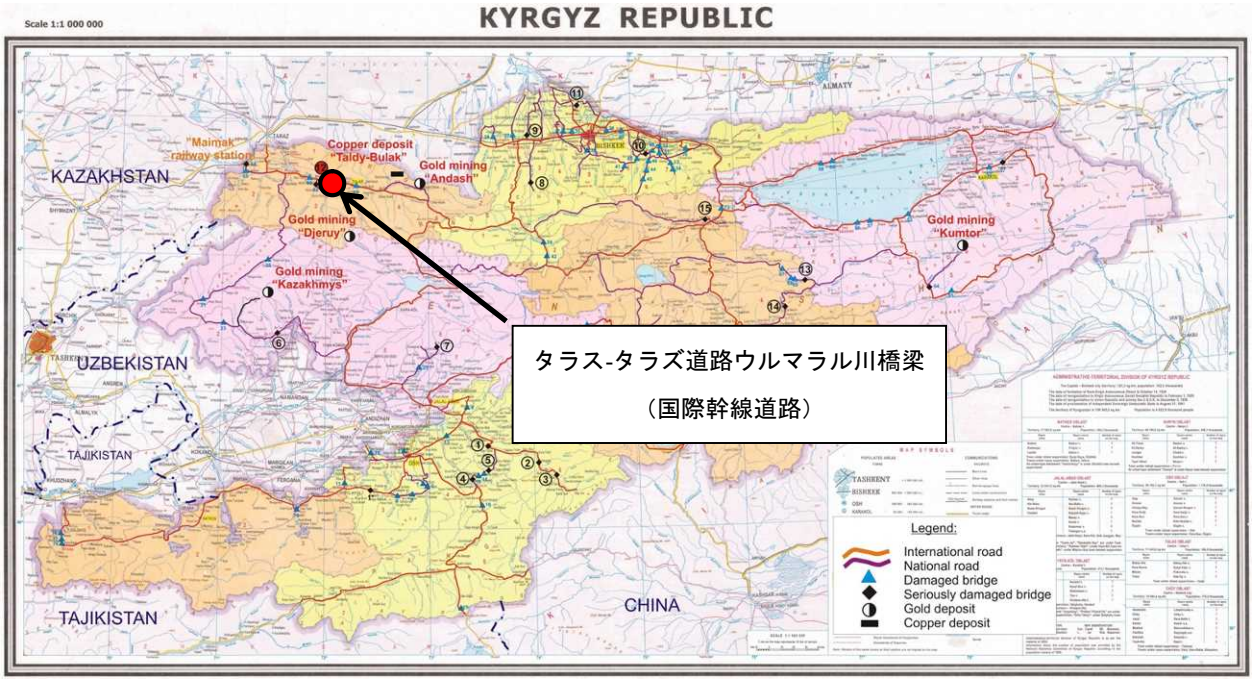
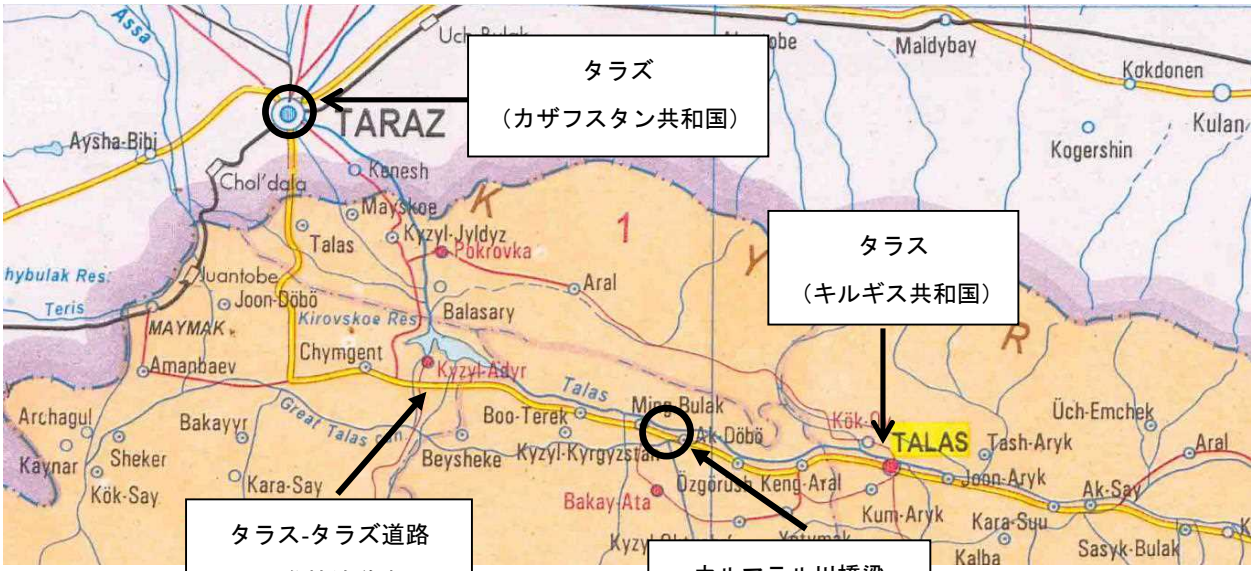
（５） ジェンダー分類：ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

（６） その他特記事項

４．過去の類似案件の教訓と本事業への適用

対キルギス無償資金協力「チュイ州橋梁架け替え計画」（評価年度 2014 年）の事後評価結果等から、橋梁上の歩道の改善に加え、コンクリート製防護壁の設置により安全な通行が確保された報告されている。また、歩道部の安全対策及び視認性向上のため、縁石の色付けを行い、歩道を明確にする等の工夫も、同国の他案件で実施されており、これらの安全確保のための工夫は、本案件においても活用されうる。

以　上

［別添資料］地図

タラス - タラズ道路ウルマラル川橋梁架け替え計画　　地図